

令和3年度 第15回春日区地域協議会 次 第

日時：令和4年3月22日(火) 午後6時30分から

会場：上越市市民プラザ 第2会議室

全体会 50分 + 分科会 1時間

1 開 会

【2分】

2 あいさつ

【3分】

3 議 題

(1) 自主的審議事項

- ・ 春日山城跡の観光振興策について (観光分科会)
- ・ 安全・安心に暮らせる春日区とする方策について (安全・安心分科会)
- ・ あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について (福祉分科会)

○ 各分科会における審議の状況について 【30分】

(2) その他

【10分】

4 そ の 他

(1) 次回開催日の確認

【5分】

- 日時 令和4年 **4月19日(火) 午後6時30分**から ※毎月第3火曜日
- 会場 上越市市民プラザを予定
- 内容 (自主的審議事項) 各分科会における検討状況について
※ 閉会后、分科会を開催

(2) その他

5 閉 会

(閉会后)

■ 分科会 ■

【60分】

- 会議資料などをもとに今後の取組みについて審議する。
- 審議の時間は1時間(長くても1時間30分)を目途とする。
- 上記にかかわらず、終了した分科会から随時解散する。

* 3/22(火)の会場 ⇒ 観光…第7会議室、安全…第8会議室、福祉…第2会議室

審議内容報告シート

【観光分科会】

(令和4年3月10日現在)

テーマ	春日山城跡の観光振興策について		メンバー	吉田実（リーダー）、渡部 忠行（副リーダー）、石田 秀雄、岡本 重孝、齊藤 洋一		
審議の背景	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 国指定の史跡であり、日本百名城にも数えられているが、観光地として十分に活用されていない。 ➤ 保存や整備について市は消極的だと感じる（春日山城跡保存整備促進協議会に頼り過ぎている）。 		審議の方向 (目標)	目標① … 観光地としての魅力向上 目標② … 市民を巻き込んだ環境整美		
審議の 進め方	(対応策の決定に向けて取り組むこと)	(現在の実施状況等)	(今後の取組み)			
	<ul style="list-style-type: none"> 春日山観光などの資料で勉強する。 	<ul style="list-style-type: none"> 下記資料をもとに協議した。 <ul style="list-style-type: none"> ① 「春日山城跡における今後の保存管理及び活用について」 ② 「上越市観光交流ビジョン(令和2～5年度)」 自主学习:「上越市の観光の現状と課題を踏まえた今後の方向性について」 	<今後の方針> <ul style="list-style-type: none"> ① 城跡の史跡としての価値を掘り起こし、観光客にアピールできるようにしていく。 ② 城跡の保存整備(草刈等)について、地元の春日山史跡管理組合等がたいへん苦勞している。史跡保存地区に花(ヤナギバヒマワリ等)を植え、維持管理の負担を軽減し、市民にも楽しんでもらえるよう提案できればよい。 ③ 城跡の見どころを活かした「フィールドミュージアム構想」について勉強し、現状のままで観光に活かすことができないか検討する。 			
	<ul style="list-style-type: none"> 行政の春日山観光への取組の現状について説明を受けたい。 	別紙1「春日区地域協議会 観光分科会 自主的審議の工程表(案)」のとおり				
	<ul style="list-style-type: none"> 春日山城跡保存整備促進協議会から、これまでの経緯の説明を受けたい。 					
	<ul style="list-style-type: none"> 観光コンベンション協会からの説明を受けたい。 					
<ul style="list-style-type: none"> 春日山を視察する。(令和4年春) 						
対応策	(<input type="checkbox"/> 団体連携 <input type="checkbox"/> 元気事業 <input type="checkbox"/> 採択方針 <input type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> その他)					

* 網掛けは前回から変更があったもの。

テーマ	安全・安心に暮らせる春日区とする方策について		メンバー	阿部 一博 (リーダー)、本多 俊雄 (副リーダー)、市川 優、太田 一巳、白濱 昭博、松澤 優作、渡邊 康子	
審議の背景	> 災害時の避難支援体制や避難所の状況などについて、理解が進んでおらず、適切な避難行動が行われるか不安がある。 > 積雪によって歩道が使用できなくなることがあり、児童・生徒や高齢者等の安全確保に支障がある。町内のボランティアに頼っている実態がある。		審議の方向 (目標)	目標① … 地域の防災体制の充実(防災士の増員、上越市防災士会春日支部の設立) 目標② … ” (避難所の環境整備) 目標③ … 積雪時の歩道の確保等	
審議の進め方	(対応策の決定に向けて取り組むこと)		(現在の実施状況等)		(今後の取組み)
	目標① 地域の防災体制の充実(防災士の増員、上越市防災士会春日支部の設立) ・実態把握 … 春日区の防災士の町内内訳⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒市の防災士養成講座の募集体制や開催頻度各町内の防災士や自主防災組織の状況(町内へアンケート)	⇒ 資料により確認 ⇒ 資料により確認 ⇒ アンケート内容を検討(素案を作成中)		⇒ ⇒⇒⇒⇒⇒⇒ ⇒ 防災士会に関する検討に優先的に取り組む。 ・資料を含めて活動状況の把握から今後の春日支部設立の手立てを協議しながら、関係者と話し合いの場を設ける。	
	目標② 地域の防災体制の充実(避難所の環境整備) ・実態把握 … 現地確認 各避難所の最大収容人数の把握 避難経路の確認				
	目標③ 積雪時の歩道の確保等 ・実態把握 … 現地確認(町内へのアンケート?)⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒歩道除雪体制の把握	⇒ アンケート内容を検討(素案を作成中)			
	※ 審議の方向性や進め方、対応策⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒ ※ 前期地域協議会の申し送り事項についても、審議の余地があるかを含め、今後検討していく。		⇒ 目標は①②③に確定。①から優先して取り組む。		
対応策	(<input checked="" type="checkbox"/> 団体連携 <input type="checkbox"/> 元気事業 <input type="checkbox"/> 採択方針 <input checked="" type="checkbox"/> 意見書 <input type="checkbox"/> その他) 目標① 地域の防災体制の充実(防災士の増員) → 町内会への呼びかけ 目標② ” (避難所の環境整備) → 市へ意見書の提出 目標③ 積雪時の歩道の確保等 → 市へ意見書の提出				

* 網掛け は前回から変更があったもの。

<p>テーマ</p>	<p>あらゆる世代が心豊かに暮らせる春日区とする方策について</p>	<p>メンバー</p>	<p>吉田 義昭 (リーダー)、谷 健一 (副リーダー)、田中 裕子 (書記)、藤田 晴子、丸山 佳子、山田 孝</p>	
<p>審議の背景</p>	<p>➤ 少子高齢化で人口減少の中、春日地区は人口増となっているが、他地域(中山間地域等)からの人口移動で増加しているため、アパートやマンションの入居者が多く、地域の伝統的行事等に関心がない世帯が多くなっている。 以下のように、まさに地域との関わりの弱体化が挙げられた。 ・ 特に若者の関心が少ない(大豆) ・ 町内行事に参加する若者が少ない(岩木) など (参考) 2/14 配付 別紙1「人口構成動態」</p>	<p>審議の方向 (目標)</p>	<p>➤ 福祉分科会では「町内会そのものの活性化」が重要であると認識。 目標① … } ➡ 町内会の活性化 ➡ あらゆる世代が心豊かに 目標② … } 目標③ … } ・ 地域の各団体等(町内会、子供会、PTA、老人会等)との意見交流会を行い、左記の審議の背景の解消に結びつく会合も一つの方法ではないか。 ・ 地域を知る手段として、町内の住宅地図を作成・発行している町内があるため、参考にしてはどうか。(地図の特徴) … 班の境界線、班番号(班名)、消火栓の位置、子ども110番の家、ごみ集積所、用水転落注意箇所、交通事故の注意箇所、物陰など防犯上の注意箇所などを表示。5年ごとに更新、配布。 ・ 町内行事等は回覧板や町内報で周知されていると思うが、そのPR方法等のアイデアを公募するなど、関心を持っていただくことを検討したい。</p>	
<p>審議の進め方</p>	<p>(対応策の決定に向けて取り組むこと)</p> <p>➤ 魅力ある地域でないとなら集まらない。特に町内会では人集めに苦労されている。 ➤ 町内会の活性化に寄与する取組みの実現に向け、まず、町内会の実態を調査する。(参考) 2/14 配付 別紙2「現状認識と対応策のつながり」</p> <p>・ 下記項目について調査を実施する。 1) 町内行事の実態(開催時期、参加人員等も) 役員会、班長会議、運動関係、環境関係、祭り関係、コミュニティ活動(餅つき、そば打ち、料理教室等) 2) 町内会独自の住宅地図(作成の有無、発行サイクル、地図の特徴、記載事項) 3) 町民への情報伝達方法(「上越広報」発行回数の減に伴う対応、アパートやマンション(オートロック付)での回覧・配布物の取扱い) ⇒ 各町内の実態を把握し、整理したうえで、<u>町内会長との意見交換会を開催したい。</u></p>	<p>(現在の実施状況等)</p> <p>⇒ 調査票を作成し、試験的に自らの町内の情報収集に着手。 ※ 町内会実態調査は、木田・藤新田・新光町・春日野・大豆・岩木一丁目・岩木二丁目藤巻を調査中 (現時点での受け止め) ・ 町内の運営に様々な違いがある。 ・ 町内ごとに様々な課題があるものと考えられる。</p>	<p>(今後の取組み)</p> <p>⇒ 必要なデータを集め、活性化策を検討する。 ・ 活性化に向けた提案の趣旨の整理 ・ 具体的アイデアの検討 (例) リーダーの育成</p>	
<p>対応策</p>	<p>(<input type="checkbox"/>団体連携 <input type="checkbox"/>元気事業 <input type="checkbox"/>採択方針 <input type="checkbox"/>意見書 <input type="checkbox"/>その他)</p>			

* 網掛けは前回から変更があったもの。

自主的審議の工程表(案)

作成:2022年2月23日

	令和3年度			令和4年度									
	第3Q(10月～12月)	第4Q(1月～3月)		第1Q(4月～6月)			第2Q(7月～9月)			第3Q(10月～12月)		第4Q(1月～3月)	
1. 分科会開催	10/2 11/2 12/1	1/1 2/14 3/22		4/19 5/17 6/21	7/19 8/16 9/20	10/1 11/1 12/2	1/17 2/21 3/21						
2. 資料研修	資料から春日山城跡の保存状況学習												
3. フィールド研修	フィールドミュージアム構想			専門家からの講義	春日山城跡、監物堀、御館跡周辺視察	過去の観光振興施策の現地視察	春日山支城、砦、長野県松代城等外部視察						
4. 関係団体との交流				春日山城跡保存整備促進協議会と交流会	春日区町内会長連絡協議会と交流会	上越市観光コンベンション協会と交流会	金谷区地域協議会と交流会						
5. 春日山観光振興の具体策立案					春日山周辺視魅力発見公開ツアー開催	春日山周辺観光振興策立案、内容検討、試行					春日山周辺観光振興策まとめ	関係団体と調整	市長への意見書まとめ
6. 備考	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料から学んだこと ①春日山城は図面がなく復元はほぼ不可能。 ②城の保存エリアの発掘が進まず、監物堀等の復元活用がされていない。 ③保存地域の草刈りなど維持が大変。 ④春日山観光振興策を立案するが実施事例少ない。 ⑤上越市から県や国への働きかけがなく消極的。 ⑥春日山観光振興に熱意のあるキーマンがいない。 				<p>春日山周辺観光振興策(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①道路、駐車場のインフラ整備をし、観光客が増えることでの交通渋滞防止を図る。 ②物産センター、戦国博物館、小川未明文学館の設置で通年観光の拠点に。 ③従来の春日山ウォーキングマップ改訂と仮想空間「戦国春日山城」をスマホで。 ④上越地域主要観光拠点と連携する周遊マップ作製、スタンプカードで景品提 								